

津市企業誘致・産業振興懇話会からの報告書を受けた（仮称）津市ビジネスサポートセンターの設置について

1 津市企業誘致・産業振興懇話会からの提言

地方創生に向けた地域経済の活性化が問われる中で、本市では、企業誘致及び産業振興について広く意見等を聴くために、平成28年4月に津市企業誘致・産業振興懇話会を設置しました。

同懇話会においては、企業誘致及びものづくりを中心とした企業支援の更なる推進に関する具体的な方策が検討され、同年7月8日に同懇話会から津市長宛てに企業誘致及び産業振興の推進に関する報告書の提出がありました。

本報告書では、本市の持続的かつ自立的な経済基盤の強化を長期的に果たすために、既存の中小企業振興、企業誘致及び創業支援といった従来型の枠組みによる支援に加えて、立地企業や創業により生まれた企業も広く市内企業という観点に立って、継ぎ目のない総合的な支援を実施する必要があるとしています。

また、その実現のために、包括的な窓口を備え、企業にとって有益な情報の一元的な集約と発信を行うことのできる総合的な拠点として、（仮称）津市ビジネスサポートセンターの創設とその役割を果たすにふさわしい体制の整備が必要であるとしています。

2 提言に対する考え方

本市の企業誘致及び企業支援のこれまでの取組の中で、企業の立地は着実に進み、平成20年4月からの企業誘致実績数は33社で、分譲賃貸面積約5.4haに達しています。

また、既存企業への支援として中小企業の人材育成や新技術開発への支援制度の整備を行ってきたほか、さらに、新たな産業の創出に取り組むため、平成20年4月に中勢北部サイエンスシティの産業業務機能支援中核施設であるあのつピア1階に津市産業振興センターを設置し、起業・創業支援や市内企業支援等に取り組んできました。

しかしながら、経済状況が不安定な中においても本市の自立基盤の強化や雇用の創出・拡大を図り、地域の持続的な発展を維持していくためには、分譲用地約1.7haを残す中勢北部サイエンスシティの完売を達成し、さらに、

企業支援の強化、企業間交流の促進や地域資源の活用による新事業の創出支援など報告書を踏まえ施策を強力に進めていきます。

3 (仮称) 津市ビジネスサポートセンターの創設

本市として、既存の企業支援、企業誘致及び創業支援をワンストップで継ぎ目のない総合的なものとするため、担当職員及びコーディネーター等の専門家が一体的なチームとなって運営に当たる体制整備として、平成29年度、商工観光部に(仮称)津市ビジネスサポートセンターを創設します。

これに伴う組織としては、現在の産業振興センターを含む工業振興課と企業誘致室の1課1室を、市内企業の経営支援等を行う課と企業誘致を行う課の2課体制とすること及び(仮称)津市ビジネスサポートセンターのセンター長として担当理事を配置することを検討します。

4 (仮称) 津市ビジネスサポートセンターの設置場所等

(仮称)津市ビジネスサポートセンターは、経営支援機能を始め事業者の課題解決に直結する機能のほか、産業に関わる人が集まる場としての交流機能などソフト・ハード両面において備わっている必要があることから、報告書を踏まえ中勢北部サイエンスシティ内の津オフィス・アルカディアに立地する産業業務機能支援中核施設あのとつピア内の1階(旧津市地域情報センター)に整備します。

また、同センターの整備に当たっては、報告書を踏まえ、次の内容とします。

項目	計画	現行(参考)	
場所	あのとつピア1階 (旧津市地域情報センター)	河芸庁舎4階 (工業振興課、 企業誘致室)	あのとつピア1 階(産業振興 センター)
面積	約430㎡	約135㎡	45㎡
		合計 約180㎡	
整備する施設	<ul style="list-style-type: none"> ・執務スペース ・経営支援・販路拡大支援・創業支援のための相談専用ルーム ・企業間交流のための交流スペース 	執務スペース	

	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成や経営支援のためのセミナールーム（会議室） ・販路拡大支援や創業支援等のためのイベントスペース ・情報発信のための展示スペース 	
賃料	あのとつピアの設置趣旨（産業業務機能）と合致したものであることから、それを勘案した額となるよう株式会社津サイエンスプラザと協議します。	年額約210万円 （産業振興センター）

企業誘致のより一層の推進を図るため、津市土地開発公社に対してあのとつピアへの移転を提案していきます。

5 河芸庁舎の有効利用

工業振興課及び企業誘致室があのとつピアへ移転後の河芸庁舎4階の空きスペースについては、外部団体に賃貸することも含め、庁舎の有効利用を図ります。

6 今後の対応

平成28年第3回津市議会定例会に提出予定の補正予算に、移転経費を始めとする整備に向けた必要な経費を計上します。

なお、今後、平成29年4月1日の（仮称）津市ビジネスサポートセンター開設を目指し、株式会社津サイエンスプラザが施設所有者として、入居可能な状況となるよう事前の準備を行う予定です。